

コウノトリ文化館だより

ホームページやSNSでリアルタイム
の情報を発信しています。

HP



9月のコウノトリ



9月になると稲刈りが本格化します。コウノトリは稲刈り中の田んぼで餌を採ることが増えてきます。今の時期はイナゴ類がたくさんいます。コンバインの後ろについて歩くコウノトリが、豊岡の秋の風物詩です。

9月の郷公園



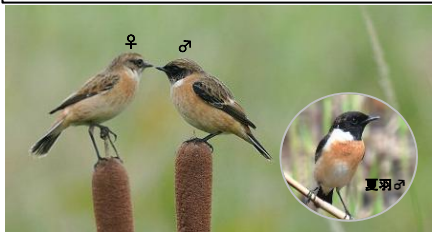
秋になると、バッタ類が大きく育ってくるのでよく目立ちます。郷公園内の草地では多くのバッタが飛び跳ねるようになります。子どもたちにとって、バッタはちょうどいい遊び相手にもなります。

とよおかの生きもの 9月



コバネイナゴ：稲刈り後の田んぼで普通に見られます。

9月はまだ暑い日が続きますが、秋の生きものを見かける機会が増えます。着実に季節が進んでいます。



ノビタキ：雄の黒い頭が特徴的な夏鳥です。9月頃から越冬のため渡りを始め、冬羽では雄も雌に似た茶色の頭になります。



ボラの未成魚：秋になるとボラの未成魚が大群をなして川を上ってきます。市内の小川や水路などで見かけます。



ヒガンバナ：豊岡市内には各地に群落がありますが、最も見事なものが円山大橋下流右岸の堤防にあります。



オオサンショウウオ：8月から9月が繁殖期です。豊岡盆地周辺の山間部にも、生息している川が何か所かあるようです。



タゴガエル：春に産卵するタゴガエル。秋には成体になっています。あごの薄墨模様で、アカガエルと見分けます。

9月の行事

キノコ・粘菌観察会

9月6日（日） 9時30分～

参加費：無料 ※要事前申込

郷公園内の森林を歩きながら、キノコや粘菌を観察します。夏のキノコ、秋のキノコ、初秋の粘菌などが見られます。山道を歩きやすい服装、靴でお越しください。



昆虫観察会

9月13日（日） 9時30分～

参加費：無料 ※要事前申込

秋になると田んぼの水が無くなり、水生昆虫は田んぼからビオトープなどの水辺に移動します。また、トンボ類なども沢山飛んでいます。郷公園内のビオトープで、ゲンゴロウ類などの水生昆虫やトンボ類を捕まえて種類を調べます。



田んぼの学校

9月20日（日） 9時30分～

参加費：子ども100円／人 当日参加可能

9月のテーマは「バッタ・イナゴ探し」です。9月に入るとバッタ類も大きくなってきて、見つけやすくなります。郷公園内の草地やビオトープで、捕まえて観察したり、種類を調べます。バッタやイナゴの仲間にも沢山の種類がいます。何種類見つかるでしょうか。



植物観察会

9月27日（日） 9時30分～

参加費：無料 ※要事前申込

秋の植物が本番を迎えます。大きな群落はまれですが、ていねいに見ていくと多くの植物に出会うことができます。特にビオトープでは他の場所では出会えない希少な種類が生えています。ゆっくりと歩いて探したいと思います。



☆企画展☆

「国産カブトクワガタ標本展」

開催中（9/1～9/15）

先月の台湾産に引き続き、今月からは日本産に変わりました。北海道から南西諸島まで、日本各地のカブト・クワガタの標本を展示しています。ヘラクレスオオカブトの生体展示も行っております。



共催：芸術文化観光専門職大学

豊岡市立コウノトリ文化館（指定管理：NPO法人コウノトリ市民研究所）

開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日（祝日にあたるときはその翌日） 入館無料（環境協力金100円・任意）

〒668-0814 豊岡市祥雲寺127番地 TEL:0796-23-7750 FAX:0796-23-8005 <https://kounotoribunkakan.com>

コウノトリ文化館は兵庫県立コウノトリの郷公園内にある、豊岡市立の見学施設です。